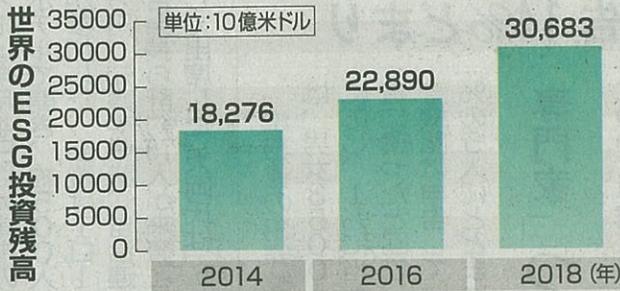


けいざい 風水

毎年のように台風や豪雨による甚大な被害が発生する中、地球温暖化をはじめとする環境問題



出所:「2018 Global Sustainable Investment Review」をもとに作成

投資マネーの潮流変化

題が大きく注目されています。9月に開催された国連地球温暖化サミットで、16歳の環境活動家グレタ・トゥンベリさんが「絶滅の始まりに直面しているのに、あなたたちはお金や永年の経済成長という信じられない話ばかりだ」と参加した各国首脳らに憤りをあらわにしたスピーチは、マスコミでも大きく取り上げられ話題となりました。

こうした中、投資の世界でもこれまでの経済的リターン最大の化を目指したマネーの流れが大きく変わりつつあります。新聞等で「ESG投資」というワードを目にしたことはあるでしょうか。E(環境:環境に配慮)、S(社会:社会貢献)、G(ガバナンス:収益を確保しつつ、不祥事を防ぐ経営)の三つのキーワードに着目した投資手法です。

足元では世界の投資資金の4

持続可能な社会、実現へ

分の1超がESG投資関連という報告もあるなど、投資の本流に位置するまでに成長してきています。

そして資金供給者である投資家の変化に伴い、資金需要者である企業の経営にも変化が表れています。SDGsに代表されるように、企業が環境問題、社会貢献、ガバナンス強化等に積極的に取り組むことが新たなイノベーションの創出や企業価値向上につながるという意識の台頭です。これまでの経済モデルでは外部不経済(環境問題、貧困等の社会問題)として、その解決には政府の関与が必要とされていた諸問題が、経済活動の中で解決に向けた取り組みがなされていくという、持続可能な社会の実現に向けた動きが広がり始めています。

(沖縄銀行首里支店長 宮城毅)